

令和3年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	社会科				
教科	歴史分野	単位数	4時間	学年・コース・組	中学2年生
使用教科書	中学の歴史(帝国書院)・中学校社会科地図(帝国書院)				
副教材等	最新歴史資料集(明治書院)・Keyワーク歴史 I・II(教育開発)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 日本を中心に歴史的出来事を学ぶ
- ② 資料等を使い歴史的現象を理解する
- ③ 学んだ知識を使い応用力を身につける

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	人類の登場から文明の発生 東アジアの中の倭(日本)	第1学期中間考査	10月	戦乱から全国統一へ 武士による支配の完成	第2学期中間考査
5月	中国にならった国家づくり 展開する天皇・貴族の政治		11月	天下泰平の世の中 社会の変化と幕府の対策	
6月	武士の世の始まり 武家政権の内と外		第1学期期末考査	12月	
7月		1月		欧米諸国における「近代化」 開国と幕府の終わり 新しい価値観の下で	
8月	夏季休業期間		2月	近代国家への歩み 帝国主義と日本	
9月	人々の結びつきが強まる社 大航海によって結びつく世界		3月	アジアの強国の光と影	第3学期期末考査

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

関心・意欲・態度・・・授業内容に対し関心を持って受けられたか。授業中に的確な発表ができたか。

思考・判断・・・地図・グラフ・表・写真等資料を読み取れたか。歴史的現象を理解できたか。

技術・表現・・・資料を読み取りポイントを説明できたか。学んだ知識を活用できたか。

知識・理解・・・歴史に興味を持ち知識を取り入れられたか。学習した内容を理解し活用できたか。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

歴史展開の基本を基に様々な出来事の繋がりを学び、互いに意見を出し合いながら学べたか評価する。

資料を有効に活用し、資料内容の理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2. 3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します